

平成31年度

# 教員免許状更新講習

受講者募集要項

仁愛大学

JIN-AI UNIVERSITY

# 教員免許状更新講習 受講申込までの手続き

## 1. まずはWebにて、予約申込みを行ってください。

本学ホームページより、Webにて予約申込みを行ってください。

<http://www.jindai.ac.jp>

予約申込受付期間

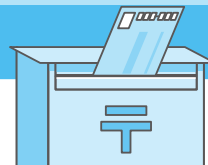
平成31年4月1日(月) AM9:00 ~ 平成31年4月4日(木) PM5:00 (中間締切日)



◆受講希望者が定員を大幅に超過した講習については抽選となる場合があります。  
抽選に漏れた方のみ、4月11日(木)までに郵送にて連絡します。

## 2. 本学より、予約申込結果を郵送します。

予約申込み結果通知を、4月24日(水)までに郵送します。



## 3. 受講申込書等に必要事項を記入し、郵送してください。

正式な受講申込みをしてください。

申込書類は4月24日(水)以降にHPに掲載します。

申込書類を本学HPよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ郵送してください。

① 受講申込書 (A4両面)    ② 証明者記入様式    ③ 写真票    ④ 事前アンケート

<注意事項> ※書類①③は、顔写真が必要です  
※書類②は、校長等の証明が必要です  
※書類④は、受講する講習を全て1枚に記入し作成してください

受講申込締切

平成31年5月10日(金) 必着

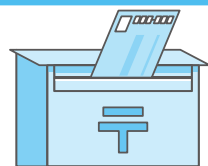


## 4. 郵送にて、「受講票」と「振込依頼書」が届きます。

本学から、「受講票」と「振込依頼書」を6月上旬に郵送します。

(1) 受講票の記載内容を確認してください。

(2) 受講料は、到着後1週間以内に最寄りの金融機関にてお振込みください。



受講

受講票を持参のうえ、受講してください。

※講習によっては持参物があります。受講前に必ず講義概要を確認してください。

## 目次

1	教員免許更新制の概要	2
2	受講対象者	2
3	開設講習	4
4	受講申込方法	
1	予約申込【Web申込】	6
2	受講申込	6
3	申込受付期間	8
4	受講料	8
5	個人情報の取扱いについて	8
5	受講票、振込用紙の送付	
1	受講票の郵送	8
2	受講料振込みについて	8
6	受講上の注意事項	
1	持参物・受付	9
2	受講のキャンセル	9
3	講習の中止	9
7	履修認定試験	10
8	事後評価アンケート	10
9	履修証明書の発行	10
10	免許状更新の方法	10
	講習概要	12～31
	本学へのアクセス／学内見取り図	32

## 1 教員免許更新制の概要

教員免許更新制とは、教員免許状を更新するため、教員養成の認定課程を有する大学等が実施する免許状更新講習を、修了確認期限前の2年間で30時間以上受講・修了し、免許管理者に申請して修了確認を受ける制度です。

仁愛大学は、教員として必要な最新の知識・技能の習得を目的とした教員免許状更新講習を開講いたします。

## 2 受講対象者（※新免許状・旧免許状共通）

平成31年度教員免許状更新講習の受講対象者は、普通免許状または特別免許状を有する方で、次の①～⑫のいずれかに該当し、修了確認期限が平成32年3月31日あるいは平成33年3月31日の方です。

- ① 現職教員（校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く）
- ② 実習助手、寄宿舍指導員、学校栄養職員、養護職員
- ③ 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
- ④ ③に準ずる者として免許管理者が定める者
- ⑤ 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
- ⑥ 上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者、また、今後教員になる可能性が高い者として、
- ⑦ 教員採用内定者
- ⑧ 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者
- ⑨ 過去に教員として勤務した経験のある者
- ⑩ 認定こども園で勤務する保育士
- ⑪ 認可保育所で勤務する保育士
- ⑫ 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士も更新講習を受講することができます。

### 旧免許状所持者

平成21年3月31日までに教諭等の普通免許状・特別免許状を授与されている方

### 新免許状所持者

平成21年4月1日以降に最初の教諭等の普通免許状・特別免許状を授与されている方

平成21年3月31日以前に普通免許状・特別免許状を授与されている方は、平成21年4月1日以降に新たな免許状を授与されたとしても「旧免許状所持者」となります。

### 旧免許状をお持ちの方へ

旧免許状の場合、現在就いている職又は今後就くことを希望している職(対象職種(免許種))に対応した講習を受講・修了することで、複数の免許状(対象職種(免許種)が異なる場合を含む。)を全て更新することができます。

### 新免許状をお持ちの方へ

新免許状の場合、対象職種(免許種)(教諭(幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭)、養護教諭、栄養教諭)のそれぞれの「免許状の種類」に対応した講習を受講・修了することが必要となります。ただし、1つの講習が教諭、養護教諭、栄養教諭の複数の対象職種(免許種)に対応したものであれば、当該講習をもって教諭、養護教諭、栄養教諭の複数の免許状の更新をすることができます。

※上記のいずれの場合でも、対象職種(免許種)の異なる選択領域講習を混ぜて受講することはできません。

※また、対象職種(免許種)とは別に、「主な受講対象者」が定められていることがありますが、「主な受講対象者」に該当していない場合でも、当該講習を受講することができます。

※学校種及び教科等については特段の定めはありませんので、実際に担当している学校種及び教科などを踏まえ、受講者本人で選択します。

※必修領域の受講に際しては、免許状の種類、職にかかわらず共通に受講します。

### 3 開設講習

免許状更新には、「必修領域(6時間)」+「選択必修領域(6時間)」+「選択領域(18時間)」  
合計30時間の履修が必要となります。

#### 【必修領域：1講習】

講習 コード	講習名	担当講師	時間数	定員	開設日	主な 受講対象者	掲 載 ページ
101	教育現場の質をより高めるために (主として幼稚園教諭対象)	下記参照	6時間	200人	8/7(水)	主として 幼稚園教諭	P12

担当講師：石川昭義、森 俊之、鈴木智子、高野秀晴

#### 【選択必修領域：5講習】

講習 コード	講習名	担当講師	時間数	定員	開設日	主な 受講対象者	掲 載 ページ
201	コミュニケーション戦略	ハカマシュー	6時間	40人	8/8(木)	小学校教諭(英語) 中学校教諭(英語)	P14
202	いじめに負けない幼児・児童を育てる 教材開発 ー紙芝居教材の開発ー	大野木裕明 伊東 知之	6時間	40人	8/9(金)	幼稚園教諭 小学校教諭	P15
203	学校における様々な問題への 組織的対応と危機管理上の課題	笠原 茂子 木曾 利雄	6時間	40人	8/9(金)	幼稚園教諭 小学校教諭	P16
204	学校・家庭・地域の連携・協働を 考える	青井 夕貴	6時間	40人	8/10(土)	幼稚園教諭 小学校教諭	P17
205	道徳教育の今日的課題	高野 秀晴	6時間	40人	8/10(土)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭	P18

【選択領域：13講習】※開講最少受講者数は10名です。(講習コード306、310、311以外)

講習 コード	講習名	担当講師	時間数	定員	開設日	※対象職種 教…教諭 養…養護教諭 栄…栄養教諭		
						対象 職種	主な 受講対象者	掲 載 ページ
301	倉橋惣三の保育論・保育者論から現代の保育を読み解く	石川 昭義	6時間	40人	8/19(月)	教	幼稚園教諭	P19
302	入門期と小学校低学年の算数	伊禮 三之 山野とよ子	6時間	40人	8/19(月)	教	幼稚園教諭 小学校教諭	P20
303	子どもの運動と食育の実践	佐藤 真実 出村 友寛	6時間	40人	8/19(月)	教 栄	幼稚園教諭 栄養教諭	P21
304	音楽の世界－理論と歴史から－	中野 研也	6時間	50人	8/21(水)	教	幼稚園教諭 小学校教諭	P22
305	幼小連携教育における表現の基礎	伊東 知之 柿本 真代	6時間	50人	8/21(水)	教	幼稚園教諭 小学校教諭	P23
306	給食経営管理・食品衛生について	樽井 雅彦 野村 卓正	6時間	40人	8/21(水)	教 栄	小学校教諭 栄養教諭	P24
307	価値創造と共創のコミュニケーション	升田 法継	6時間	30人	8/22(木)	教	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭	P25
308	里地里山の自然環境の中で生物の多様性と共通性を観察し探究する	西出 和彦	6時間	30人	8/22(木)	教	幼稚園教諭 小学校教諭	P26
309	歴史的視座から「日記」教育を考える	柿本 真代 田中 祐介	6時間	50人	8/23(金)	教	小学校教諭 中学校教諭	P27
310	健康・栄養情報を理解するための講座 ～食品の消化について～	池田 涼子 石黒真理子	6時間	24人	8/23(金)	教 養 栄	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭 栄養教諭	P28
311	食育を支える科学的根拠と実践のための理論と方法	山本 浩範 細田 耕平	6時間	50人	8/27(火)	教 栄	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 栄養教諭	P29
312	“気がかりな子ども”を心理学的に考える	森 俊之 稲木康一郎	6時間	50人	8/28(水)	教 養	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	P30
313	表計算ソフトの活用による校務の効率化	籠谷 隆弘	6時間	40人	8/28(水)	教	幼稚園教諭 小学校教諭	P31

※ 講習内容の詳細については、上表の掲載ページにてご確認ください。

## 4 受講申込方法

講習の申込は、『予約申込』および『受講申込』の2回行います。

本学ホームページの「教員免許状更新講習」で、開設講習を確認してください。

なお、講習によっては、主たる受講対象となる教員の校種が定められている場合があります。

◆詳細は12～31ページの「講習概要」を参照してください。

◆本学のホームページアドレス <http://www.jindai.ac.jp>

### 1 予約申込【Web申込】（まずはWebにて、予約申込みを行ってください。）

受講したい講習を事前予約します。

本学ホームページの「教員免許状更新講習」から予約申込を行ってください。

予約申込期間  
(中間締切)

平成31年4月1日(月) 9:00 ～ 4月4日(木) 17:00

◆申込受付期間に中間締切日を設けています。4月4日(木)17:00の時点で受講希望者が定員を大幅に超過した講習については抽選となる場合があります。

抽選となった場合は、抽選に漏れた方のみ4月11日(木)までに郵送にて連絡します。

◆中間締切日時点で定員に達した講習は、最終の受講申込締切日を待たずに募集を締め切りますのでご了承ください。また、定員に空きのある講習につきましては、予約申込期間終了後も引き続き募集を行います。

◆予約受付が完了した方には、申込結果通知を4月24日(水)までに郵送します。

※1 予約後のキャンセルは、他の受講者の方に迷惑がかかります。やむを得ない事情以外のキャンセルがないようお願いします。

※2 初めて教員免許状更新講習の受講を希望する方は、必修1講習、選択必修1講習、選択3講習まで同時に申し込むことができます。また、仁愛女子短期大学でも必修講習が開設されていますが、本学の必修講習との併願はできませんのでご了承ください。

※3 受講2年目で1年目も本学の講習を受講された方は、同じ講師による同じ講習名・内容の講習を2回受講することはできませんので、ご注意ください。

### 2 受講申込（上記Web申込終了後、専用用紙にて本申請をしてください。）

予約申込の結果通知を確認後、正式に受講する講習の申込みをします。

申込書類を本学ホームページの「教員免許状更新講習」からダウンロードし、必要事項を記入のうえ、受講申込期間内に特定記録郵便にて郵送してください。

受講申込期間  
(本申請)

平成31年4月24日(水) ～ 5月10日(金) **消印有効**



## ■ 申込書類

書 類 等		備 考
①	受講申込書 (A4両面)	必要事項を記入し、顔写真を貼付のうえ、所属学校(機関)長の証明・押印を受けてください。 顔写真は、正面向、上半身、無帽、縦4cm×横3cm、申込以前3ヶ月以内に撮影した写真を貼付してください。 写真の裏側には名前を記入してください。 複数の講習を同時に申込みれる場合も申込書は1枚です。
②	写 真 票	必要事項を記入し、受講申込書と同じ写真を貼付してください。 写真の裏側には名前を記入してください。 複数の講習を同時に申込みれる場合も写真票は1枚です。 ※写真のコピー、プリクラ、画像を普通紙・コピー用紙に印刷したものは、全て規定外です。
③	事前アンケート	受講する講習名を全て1枚に記入し作成してください。
④	受 講 料 (銀行振込)	受講者確定後、6月上旬に郵送する「受講票」(P8参照)とともに、振込用紙を同封いたしますので、 <b>到着後1週間以内に最寄りの金融機関にてお振込みください。</b> 振込手数料は、受講者負担とさせていただきます。

※1 選択講習（講習コード306、310、311以外）において、申込受付終了時点で申込者が10人に満たない場合は開講しません。この場合、不開講を受講申込者に連絡するとともに、申込書類および受講料全額を返還します。

※2 講習ごとの受付状況については、本学ホームページで確認できます。

※3 障がい等により特別な支援等が必要となる方は、申込み前に必ず相談してください。

※4 定員に達した講習については、その後受講申込があっても受付は行いません。  
既に定員に達した後の受講申込については、受講申込者に速やかに連絡いたします。

## ■ 本学教員免許状更新講習ホームページアドレス

URL : <http://www.jindai.ac.jp>

## ■ 送付先

〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1

仁愛大学 教員免許状更新講習係

※ 封筒は角2封筒を使用し、表に「教員免許状更新講習申込書在中」と朱書きしてください。

### 3 申込受付期間

申込受付期間	平成31年4月1日(月)～平成31年5月10日(金)
中間締切日	平成31年4月4日(木) 17:00
最終締切日	平成31年5月10日(金) <b>消印有効</b>

### 4 受講料

1講習/6,000円

### 5 個人情報の取扱いについて

提出された申込書類等に記載されている個人情報及び履修認定試験結果等の個人情報については、下記の目的以外には利用しません。

- ① 講習受講及び履修認定に関わる業務。
- ② 都道府県教育委員会より、履修認定に関する照会があった場合。

## 5 受講票、振込用紙の送付

- 1 申込書類が提出され、受講が決定しましたら、6月上旬に受講番号を付した「受講票」を郵送します。

注1 講習コード306、310、311以外の選択講習について、受講申込者が10人に満たない場合は、開講しません。

注2 6月中旬になっても「受講票」が届かない場合は、本学 教員免許状更新講習係 (0778-27-2257) へご連絡ください。

- 2 受講料振込みについて

受講者確定後、6月上旬に郵送する「受講票」とともに「振込用紙」を同封いたしますので、到着後1週間以内に最寄りの金融機関にてお振込み下さい。振込手数料は受講者負担とさせていただきます。

## 6 受講上の注意事項

### 1 持参物・受付

受講当日は、以下のものを持参してください。

①	受講票
②	筆記用具
③	実技を伴う講習に関しては、適した服装等
④	講習に使用する書籍・教材等を受講生自身が準備することが必要な講習もあります。

注1 講習当日は、午前8時30分より受付を行います。  
受付の際には、受講票を提示してください。

注2 昼食は各自で準備してください。なお、学内食堂（C号館1階）の営業日は、  
本学ホームページで表示しますので各自で確認してください。

注3 遅刻、欠席、早退、途中退席は認めません。この場合、履修認定をしません。

### 2 受講のキャンセル

止むを得ず講習を受講できなくなった場合は、受講者の請求に基づいて受講料を返還（指定の金融機関口座に入金）します。その際、返還に係る振込手数料は受講者負担とさせていただきます。講習実施日の前日（土日祝日等業務を行わない日を除く）の午後5時までに電話又はファックスにてその旨をご連絡ください。ただし、当日のキャンセル、講習開始後の早退、受講を途中で止めた場合は、受講料は返還しません。

### 3 講習の中止

- ① 暴風警報などの気象警報の発令、台風や地震などの自然災害、公共交通機関の不通や運休、その他本学が講習の中止または延期を必要と認めた場合（担当講師の急病など）には、講習の実施を中止または延期することがあります。本学が講習の中止または延期を決定した場合は、受講者に対し、仁愛大学ホームページにて掲載し、お知らせします。
- ② 講習が中止となった場合や受講者が延期による代替日に出席できない場合には、受講料を全額返還します。

## 7 履修認定試験

履修認定は、筆記試験または実技試験などによって最低限の理解が得られ、成績審査に合格したと認められた者に対して行います。成績審査により、最低限の理解が得られていないと判定された場合は不認定とします。

## 8 事後評価アンケート

講習及び試験が終了した後に、免許状更新講習規則第7条に基づく「事後評価アンケート（免許状更新講習受講者評価書）」を実施しますので、提出してください。なお、アンケートの結果については、講習ごとに集約し、文部科学省へ報告します。

## 9 履修証明書の発行

講習実施日（最終受講日）の3週間後を目途に、履修認定の判定結果について通知します。認定された場合は、履修認定証明書を郵送し、不認定と判定された場合は、その旨を通知します。  
履修証明書は、免許管理者（勤務する学校（園）所在地の都道府県委員会）に対し、更新講習修了の確認申請をするための添付書類となりますので、大切に保管してください。

## 10 免許状更新の方法

講習実施日（最終受講日）の1ヶ月後を目途に履修認定証明書を郵送します。履修認定証明書が揃いましたら、各都道府県教育委員会にて手続きを行ってください。なお、免許状更新の方法については、各都道府県教育委員会で確認してください。

福井県教育委員会ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gakushin/top1.html>

教員免許状更新講習

## 講習概要

- 101—教育現場の質をより高めるために（主として幼稚園教諭対象）
- 201—コミュニケーション戦略
- 202—いじめに負けない幼児・児童を育てる教材開発 —紙芝居教材の開発—
- 203—学校における様々な問題への組織的対応と危機管理上の課題
- 204—学校・家庭・地域の連携・協働を考える
- 205—道徳教育の今日的課題
- 301—倉橋惣三の保育論・保育者論から現代の保育を読み解く
- 302—入門期と小学校低学年の算数
- 303—子どもの運動と食育の実践
- 304—音楽の世界 —理論と歴史から—
- 305—幼小連携教育における表現の基礎
- 306—給食経営管理・食品衛生について
- 307—価値創造と共創のコミュニケーション
- 308—里地里山の自然環境の中で生物の多様性と共通性を観察し探究する
- 309—歴史的視座から「日記」教育を考える
- 310—健康・栄養情報を理解するための講座 ～食品の消化について～
- 311—食育を支える科学的根拠と実践のための理論と方法
- 312—“気がかりな子ども”を心理学的に考える
- 313—表計算ソフトの活用による校務の効率化

区分	講習コード	講習名	開設日
必修	101	教育現場の質をより高めるために (主として幼稚園教諭対象)	平成31年8月7日(水)

担当講師	石川 昭義 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授) 森 俊之 (仁愛大学 人間学部 心理学科 教授) 鈴木 智子 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 准教授) 高野 秀晴 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 准教授)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	200人
対象職種	教諭
主な受講対象者	主として幼稚園教諭
会場	仁愛大学

講習の内容・目標	<p>教育現場の質を高めるために、「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「幼児の発達と支援」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることがねらいである。なお、本講習は、主として幼稚園教諭を対象とした内容になっている。</p> <p>■教育現場の質をより高めるために</p> <p>テーマ【理想的教師像の歴史の変遷】 講習概要：教員に求められる資質能力には、「不易」と「流行」があると言われる。理想とされる教師像が時代とともにどのように変わってきたのか(あるいは変わらなかったのか)を追うことを通じて、今日の教員に求められる資質能力について再検討し、教職のあり方を省察する機会としたい。(担当教員 高野秀晴)</p> <p>テーマ【幼児の発達と支援】 講習概要：子どもの発達に関する心理学や脳科学の最新知見について解説する。その中で、自閉症やADHD等の発達障害の症状や原因について理解を深め、そのような子どもに対する関わり方について、とくに幼児期における関わり方を中心に、現実的な対応策を検討する。これらを通して、子どもの発達と特別支援教育のあり方についての省察を促す。(担当教員 森 俊之)</p> <p>テーマ【幼児理解を踏まえた指導について考える】 講習概要：子どもの発達が個別化し多様化しており、一人一人の特性と発達の課題に応じるという視点が、幼児教育には期待されている。幼児理解におけるカウンセリング・マインドの重要性を指摘するとともに、一人一人の居場所があり、協同的な遊びと学びに繋がるような集団の形成に、教師はどう関わればいいのかについて、「生きる力の基礎」構築という立場から考える。(担当教員 鈴木智子)</p> <p>テーマ【教育政策の動向について】 講習概要：「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(ともに平成29年3月告示)について概要を解説する。幼児教育において育みたい資質・能力、カリキュラムマネジメント、小学校との接続などのキーワードをもとに、幼児期の教育をめぐる昨今の諸課題について考えます。(担当教員 石川昭義)</p>
----------	--

スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9:00～ 9:05 (5分) オリエンテーション</li> <li>• 9:05～10:20 (75分) 講義「理想的教師像の歴史の変遷」(担当教員 高野秀晴)</li> <li>• 10:20～10:30 (10分) 休憩</li> <li>• 10:30～11:45 (75分) 講義「幼児の発達と支援」(担当教員 森俊之)</li> <li>• 11:45～12:30 (45分) 休憩</li> <li>• 12:30～13:45 (75分) 講義「幼児理解を踏まえた指導について考える」(担当教員 鈴木智子)</li> <li>• 13:45～13:55 (10分) 休憩</li> <li>• 13:55～15:10 (75分) 講義「教育政策の動向について」(担当教員 石川昭義)</li> <li>• 15:10～15:15 (5分) 休憩</li> <li>• 15:15～15:25 (10分) 試験配付時間</li> <li>• 15:25～16:20 (55分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	特になし。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	201	コミュニケーション戦略	平成31年8月8日(木)
担当講師	ハウカ マシュー (仁愛大学 人間学部 コミュニケーション学科 講師)		
講習時間	9:00~16:10		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭（主として英語科教諭向け）		
会場	仁愛大学		
講習の内容・目標	<p>This seminar demonstrates practical methods/activities for use in the EFL classroom. This seminar will be largely conducted and evaluated in English.</p> <p>英語授業を進める効果的な手法や授業構成のポイント、児童・生徒のコミュニケーション能力を高めるための教材などについて学ぶ。また、授業づくりの演習を行い、体験的に理解を深める。講習はほとんど英語で行う。</p>		
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>• 9:10~10:30 (80分) 講義:Introduction to SLA theory (lecture/discussion)</li> <li>• 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>• 10:40~12:10 (90分) 講義:Communicative strategies (lecture/discussion, and practice)</li> <li>• 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>• 13:00~14:30 (90分) 演習:Creating a lesson (group activity)</li> <li>• 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>• 14:40~15:10 (30分) 授業のまとめ</li> <li>• 15:10~16:10 (60分) 筆記試験 (multiple choice and short answer)</li> </ul>		
評価方法	<p>Attendance, class participation, and written evaluation</p> <p>講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。</p> <p>講義の配布資料や辞書は持ち込み可。</p>		
連絡事項 当日の持参物	筆記用具、ノート用紙、辞書		



区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	202	いじめに負けない幼児・児童を育てる教材開発 —紙芝居教材の開発—	平成31年8月9日(金)

担当講師	大野木裕明 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授) 伊東 知之 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人
対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	いじめをしない、負けない子どもの育ちには、たとえ他者への配慮が発達的に未熟だとしても、幼児期・児童期から積極的に教育をしていくことが重要となる。もちろん、それは容易ではないが、だからといって手をこまねいてよいはずもない。この講習では、幼児・児童らが親しみやすい紙芝居によって働きかけをすることが効果的であると位置づけ、具体的な教材作りを通じて不登校の意味やいじめ防止の方途、教育相談のありかたを追及する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:10 (60分) 物語文法の理論、絵画技法、紙芝居の構想</li> <li>・ 10:10~10:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:20~11:20 (60分) 「さるかに合戦」ほか各自の制作の検討</li> <li>・ 11:20~11:30 (10分) 休憩</li> <li>・ 11:30~12:20 (50分) 演習と創作</li> <li>・ 12:20~13:10 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:10~15:10 (120分) 演習と創作</li> <li>・ 15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:20~16:20 (60分) 作品発表と筆記試験</li> </ul>
評価方法	筆記試験による講義内容の理解、制作物の仕上がりの程度から総合的に評価する。
連絡事項 当日の持参物	事前に「さるかに合戦」など各自で子ども向けの昔話を1つ自分用に準備してください。 ただし、各自が制作のために必要な画材等はすべて大学でも準備します。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	203	学校における様々な問題への組織的対応と危機管理上の課題	平成31年8月9日(金)
担当講師	笠原 茂子 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 准教授) 木曾 利雄 (元 仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授)		
講習時間	9:00～16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
対象職種	教諭		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
会場	仁愛大学		
講習の内容・目標	学校教育の質を高めるため、学校組織の特性とその組織の中堅の役割について再確認し、学校組織マネジメントについて理解を深める。更に各園・小学校の様々な問題について具体的に考え、組織的対応の必要性やそのあり方について理解する。園・小学校における危機管理に対する基本的な考え方を理解し、園・小学校における危機を分類し、子どもの保健・安全・給食に関する危機管理上の具体的課題について考える。		
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:30 (80分) 講義:学校組織の特性と中堅の役割について考え、組織マネジメントについて理解する</li> <li>・ 10:30～10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40～12:10 (90分) 講義:各園・学校の様々な問題と組織的対応の具体的事例を考える</li> <li>・ 12:10～13:00 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:00～14:00 (60分) 講義:園・学校における危機管理の基本的な考え方について理解する</li> <li>・ 14:00～14:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:10～15:10 (60分) 講義:園・学校でのリスク、クライシスマネジメント上の課題について考える</li> <li>・ 15:10～15:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:20～16:20 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	筆記試験により、講義内容の理解度を評価する。		
連絡事項 当日の持参物	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	204	学校・家庭・地域の連携・協働を考える	平成31年8月10日(土)

担当講師	青井 夕貴 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 准教授)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人
対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	子どもの育ちを支えるために、学校・家庭・地域が果たす役割などを整理し、なぜ互いに連携・協働していく必要性があり、どのような意義があるのかについて改めて確認する。それらを踏まえ、連携・協働を円滑に進めるためのネットワークや体制づくりへの理解を深める。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義・演習「連携、協働など関連するキーワードを整理する」</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~12:10 (90分) 講義・演習「地域にある社会資源を整理する」</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:00~14:00 (60分) グループワーク「事例に基づいて連携・協働を考える(話し合い)」</li> <li>・ 14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:10~15:10 (60分) グループワーク「事例に基づいて連携・協働を考える(発表)」</li> <li>・ 15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:20~16:20 (60分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	筆記試験により、講義内容の理解度を評価する。
連絡事項 当日の持参物	特になし。

## 講習概要

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	205	道徳教育の今日的課題	平成31年8月10日(土)
担当講師	高野 秀晴 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 准教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
対象職種	教諭		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭		
会場	仁愛大学		
講習の内容・目標	<p>今日、学校における道徳教育は、大きく変わろうとしている。本講習では、「特別の教科 道徳」の実施が決定するまでの経緯を追いながら、これからの時代に求められる道徳教育のあり方について考察する。そのうえで、教材研究の進め方についても考える機会としたい。なお、教材研究については、主として小学校道徳で用いられる教材を取り扱うこととするが、学校間連携の観点から幼稚園教諭、中学校教諭も受講対象とする。</p>		
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 道徳をめぐる教育政策の動向</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~12:10 (90分) 学習指導要領を読む</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:00~14:30 (90分) 教材研究の進め方について</li> <li>・ 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:40~15:10 (30分) 道徳教育の今後の課題</li> <li>・ 15:10~15:30 (20分) まとめ</li> <li>・ 15:30~15:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:40~16:20 (40分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項 当日の持参物	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	301	倉橋惣三の保育論・保育者論から現代の保育を読み解く	平成31年8月19日(月)

担当講師	石川 昭義 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授)
講習時間	9:00~16:10
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人(最小受講者10人)
対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	本講習は、倉橋惣三の保育論・保育者論をレビューすることを通して、今日のわが国の保育観及び保育論について考えるとともに、これからの保育のあり方を展望することを目的とする。特に、平成元年の幼稚園教育要領の改訂に見る倉橋の保育観の影響を考察しつつ、今日に至る保育観の変遷を概観し、平成29年改訂の幼稚園教育要領の意義及び現代社会における幼児教育のあり方を議論する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>• 9:10~10:30 (80分) 講義:倉橋惣三の保育論と現代</li> <li>• 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>• 10:40~12:10 (90分) 講義:倉橋惣三の保育者論と現代</li> <li>• 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>• 13:00~14:30 (90分) 演習:現代社会と保育(グループワークと発表)</li> <li>• 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>• 14:40~15:20 (40分) 授業のまとめ</li> <li>• 15:20~16:10 (50分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験及びグループ発表への取組状況によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」のいずれか。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	302	入門期と小学校低学年の算数	平成31年8月19日(月)

担当講師	伊禮 三之 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授) 山野下とよ子 (元 福井大学 教育地域科学部 特命准教授)
講習時間	9:00~16:10
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人 (最小受講者数10人)
対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	数概念の形成のために小学校就学以前にやっておくことが望ましい基本操作(入門期の算数)や小学校低学年における位取り記数法や加減の指導及びかけ算の指導について、実践的に紹介するとともに、これらの内容に関連したゲームや遊びについても紹介する。こうした講義やワークショップを通して、数概念の形成に必要な基本操作や位取り記数法の原理、加減や乗法の指導のポイントを理解する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義:数概念を育む幼児期における基本操作と位取り記数法</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~12:10 (90分) 講義:小学校低学年の加減の指導について</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:00~14:30 (90分) 講義:かけ算(2年生)の指導について</li> <li>・ 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:40~15:10 (30分) 演習:入門期及び低学年算数のゲーム等のワークショップ</li> <li>・ 15:10~16:10 (60分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容等についての筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	ワークショップ以外、講義中にも作業を行うので相応しい服装で参加して下さい。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	303	子どもの運動と食育の実践	平成31年8月19日(月)

担当講師	佐藤 真実 (仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授) 出村 友寛 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 講師)
講習時間	9:00～16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人 (最小受講者数10人)
対象職種	教諭、栄養教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、栄養教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	「運動」では、子どもの運動遊びと体力の発達について学ぶとともに、自身の体力測定を行い、結果を分析評価する。「食育の実践」では、子どもが食べものに興味をもつための簡単な実験とそれを楽しむための調理実習について手法を学ぶ。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:00 (50分) 「子どもの運動遊びと体力」(担当教員 出村友寛)</li> <li>・ 10:00～10:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:10～11:40 (90分) 「体力測定とその評価」(担当教員 出村友寛)</li> <li>・ 11:40～11:50 (10分) 休憩</li> <li>・ 11:50～12:20 (30分) 筆記試験</li> <li>・ 12:20～13:00 (40分) 休憩</li> <li>・ 13:00～14:30 (90分) 「食べものを知る(簡単な実験)」(担当教員 佐藤真実)</li> <li>・ 14:30～14:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:40～15:40 (60分) 「子どもが作る・調理する(調理実習)」(担当教員 佐藤真実)</li> <li>・ 15:40～15:50 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:50～16:20 (30分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	出村担当：自身の体力測定を実施し、その結果を分析したワークシートと筆記試験をもとに評価する。(体力測定の結果は評価の対象にはしない)。 佐藤担当：実験・実習に参加しながら、結果・考察・学んだことをワークシートに記入する。そのワークシートと筆記試験をもとに評価する。
連絡事項 当日の持参物	出村担当：運動のできる服装、体育館シューズを持参すること。 佐藤担当：エプロン・三角巾・タオル・筆記用具・あれば室内シューズ

## 講習概要

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	304	音楽の世界 ―理論と歴史から―	平成31年8月21日(水)
担当講師	中野 研也 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 准教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	50人(最小受講者数10人)		
対象職種	教諭		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
会場	仁愛大学		
講習の内容・目標	幼稚園から中学校まで、必ず音楽の活動や音楽の授業があり、高等学校でも選択科目として音楽が含まれている。それは、音楽が子どもの教育に有益なものとされているからである。本講習では、さまざまな音楽を基礎的な音楽理論や歴史的背景を交えながら考察することで、幼稚園や小学校における子どもたちの音楽活動がより豊かなものとなる事をめざす。また、歌唱曲などの題材を用いて、伴奏や編曲についても触れていく。		
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:10 (60分) 保育・教育の場における音楽の役割と力</li> <li>・ 10:10~10:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:20~11:50 (90分) 音楽の成り立ち~西洋音楽の理論を中心として</li> <li>・ 11:50~12:40 (50分) 休憩</li> <li>・ 12:40~14:00 (80分) 音楽の発展~西洋音楽の歴史を中心として</li> <li>・ 14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:10~15:30 (80分) 実践:子どものための音楽</li> <li>・ 15:30~15:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:40~16:20 (40分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	講義で扱った内容を出題した筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項 当日の持参物	特になし。		



区分	講習コード	講習名	開設日
選択	305	幼小連携教育における表現の基礎	平成31年8月21日(水)

担当講師	伊東 知之 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授) 柿本 真代 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 講師)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	50人 (最小受講者数10人)
対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	発達過程における幼児・児童期を見据え「自ら考え、判断し、表現する力を育む」ため、造形表現では幼児期から児童期へとつながる子どもの発達段階を踏まえた造形表現活動について知識や技能を実践的に体得する。また、幼児・児童期に欠かせない文化財である絵本の表現について、その構造を理解するとともに、様々な角度から絵本表現を分析・理解する方法について理論的、実践的に導く。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:10 (60分) 造形表現の理論と実践①</li> <li>・ 10:10~10:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:20~11:20 (60分) 造形表現の理論と実践②</li> <li>・ 11:20~11:30 (10分) 休憩</li> <li>・ 11:30~12:30 (60分) 絵本表現の理論と実践①</li> <li>・ 12:20~13:20 (50分) 昼食</li> <li>・ 13:20~14:20 (60分) 絵本表現の理論と実践②</li> <li>・ 14:20~14:30 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:30~15:00 (30分) まとめ</li> <li>・ 15:00~16:20 (80分) テスト・レポート作成・提出</li> </ul>
評価方法	2講座を踏まえて、それぞれテスト・小レポートを作成し提出する。それら各講座ごとの評価を取りまとめ、総合的に評価する。
連絡事項 当日の持参物	特になし。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	306	給食経営管理・食品衛生について	平成31年8月21日(水)

担当講師	樽井 雅彦 (仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 教授) 野村 卓正 (仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授)
講習時間	9:00~16:10
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人
対象職種	教諭、栄養教諭
主な受講対象者	小学校教諭、栄養教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	給食運営の組織体(学校など)の理念に基づき、より良い製品(給食)・サービスを顧客(利用者)に提供するために、必要な資源(人材、食材、資金、設備、技術など)を活用して生産過程やシステムの円滑化・安全化を図り、評価・改善などを実践する活動である。その基礎的な概念について学ぶ。また、食品安全基本法の理念を理解し、食品衛生行政機関が提供している情報を正しく理解して食品の消費活動に反映していく方法について考える。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義:給食経営管理を理解する(担当教員 樽井雅彦)</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~12:10 (90分) 講義:給食の衛生管理について(担当教員 樽井雅彦)</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:00~14:30 (90分) 講義:食品の安全情報を正しく理解するために(担当教員 野村卓正)</li> <li>・ 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:40~16:10 (90分) 筆記試験と解説(講義内容についての試験及び解説)</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	特になし。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	307	価値創造と共創のコミュニケーション	平成31年8月22日(木)

担当講師	升田 法継 (仁愛大学 人間学部 コミュニケーション学科 准教授)
講習時間	9:00~16:10
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	30人 (最小受講者数10人)
対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	変化への対応力が求められる昨今においては、自身の周りや社会の問題を解決していく力が必要となります。そこで大切なのは、集団との関わり合いの中で、生徒一人一人のもつ能力の覚醒を促したり能力を伸ばす指導であり、また社会に貢献することに喜びを感じ得る人材の養成です。授業では大学生が県内小学校の授業「総合的な学習の時間」に関わった(支援した)事例を紹介しながら、価値創造と共創のコミュニケーションについて考察していきます。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義:コミュニケーション概論</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~11:40 (60分) 講義:価値の創造</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:00~14:30 (90分) 講義:共創のコミュニケーション</li> <li>・ 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:40~15:40 (60分) 演習:価値創造と共創のコミュニケーション</li> <li>・ 15:10~16:10 (60分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	特になし。

講習概要

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	308	里地里山の自然環境の中で生物の多様性と共通性を観察し探究する	平成31年8月22日(木)
担当講師	西出 和彦 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授)		
講習時間	9:00~16:10		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	30人(最小受講者数10人)		
対象職種	教諭		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
会場	越前市エコビレッジ交流センター (〒915-1225 福井県越前市湯谷町25-25-2) TEL/FAX : 0778-28-1123 ※講習に関するお問い合わせは本学へお願いいたします。		
講習の内容・目標	越前市エコビレッジ交流センターを主会場とし、里地里山の雑木林、水田、休耕田、川での自然体験や観察を通し、生物の多様性と共通性を具体的な体験とともに理解することを活動内容とする。目標は、自然との触れあい方や生きものを観察する視点を通し、指導者として身に付けるべき資質・能力について自ら考え、課題を設定し、課題解決に向けてのきっかけを作ることとする。		
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:00 (50分) 講義:生物の多様性と共通性</li> <li>・ 10:00~10:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:10~12:10 (120分) 演習:野外での自然観察, 生きもの採集(雨天でも実施)</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 昼食</li> <li>・ 13:00~13:45 (45分) 演習:標本の作り方, 生きものの飼育の仕方</li> <li>・ 13:45~14:30 (45分) 演習:課題の設定, 計画立案</li> <li>・ 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:40~15:25 (45分) 発表・まとめ・振り返り</li> <li>・ 15:25~16:10 (45分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	講義・演習に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項 当日の持参物	飲み物、昼食、帽子、タオル、雨合羽(雨天時)、筆記用具 服装：長袖・長ズボン、汚れても(ぬれても)良いズックまたは長靴【川に入る予定】 ※雨天でも野外での自然観察を行いますので、雨合羽をご準備ください。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	309	歴史的視座から「日記」教育を考える	平成31年8月23日(金)

担当講師	柿本 真代 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 講師) 田中 祐介 (明治学院大学 教養教育センター 専任講師)
講習時間	9:00~16:30
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	50人 (最小受講者数10人)
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	日本では日記をつけることが児童や生徒の課題としてしばしば設定される。このような教材としての日記の活用は、日本では明治時代から行われてきた。本講習では、日記をつけることの価値がどのように考えられ、教材として定着にいったのか、またその指導はどのように行われ、どのような問題を孕んでいたかなどを歴史的視座から検討することを通して、これからの学校現場における日記の活用についての方途を模索する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:00 (50分) ディスカッション～自身の日記経験と日記指導について (田中・柿本)</li> <li>・ 10:00~10:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:10~11:10 (60分) 近代の日記文化について (田中)</li> <li>・ 11:10~11:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 11:20~12:20 (60分) 明治期の学校教育と日記 (柿本)</li> <li>・ 12:20~13:10 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:10~14:10 (60分) 日本の日記教育とその問題 (田中)</li> <li>・ 14:10~14:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:20~15:20 (60分) まとめ～これからの日記教育を考える (柿本)</li> <li>・ 15:20~15:30 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:30~16:30 (60分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての討論や筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	現在教材として使用されている日記帳や過去に使用されていた日記帳などがあれば可能な範囲でご持参ください。

## 講習概要

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	310	健康・栄養情報を理解するための講座 ～食品の消化について～	平成31年8月23日(金)
担当講師	池田 涼子 (仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授) 石黒真理子 (仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 講師)		
講習時間	9:00～16:10		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	24人		
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭		
会場	仁愛大学		
講習の内容・目標	子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身につけていく学びの基は「食」にある。栄養・食教育の基本となる「栄養学」はものを食べて消化し、栄養素が体に吸収されることから始まる。本講座では、食べ物が消化される過程について生化学的手法と栄養学的な視点を通して学ぶとともに、食物アレルギーが起こる生体のしくみについて考える。		
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:00 (50分) 講義①:食物アレルギーの概要(担当教員 池田涼子)</li> <li>・ 10:00～10:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:10～11:40 (90分) 実験①:たんぱく質の消化(担当教員 池田涼子・石黒真理子)</li> <li>・ 11:40～12:30 (50分) 休憩</li> <li>・ 12:30～14:10 (100分) 実験②:消化によって生じたもの(担当教員 石黒真理子・池田涼子)※片付け含む</li> <li>・ 14:10～15:00 (50分) 講義②:食物アレルギーのしくみと対応(担当教員 石黒真理子)</li> <li>・ 15:00～15:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:10～16:10 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項 当日の持参物	白衣・上履き必要		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	311	食育を支える科学的根拠と実践のための理論と方法	平成31年8月27日(火)

担当講師	山本 浩範 (仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 教授) 細田 耕平 (仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 講師)
講習時間	9:00~16:10
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	50人
対象職種	教諭、栄養教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、栄養教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	本講習は、食育を実施する小学校および中学校教諭、栄養教諭、幼稚園教諭向けの講習である。食生活の乱れや肥満・痩身傾向などの問題を背景に食育を支える科学的根拠について最新情報を交えて解説する。それらを基礎として、幼小中学校における食育を実施するうえで必要となる理論と実践例について具体例をもとに紹介する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>• 9:10~10:30 (80分) 講義:食育を支える科学的根拠</li> <li>• 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>• 10:40~12:10 (90分) 講義:学校における食育の基本</li> <li>• 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>• 13:00~14:30 (90分) 講義:学校における食育の実践</li> <li>• 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>• 14:40~16:10 (90分) 筆記試験と解説(講義内容についての試験及び解説)</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての討論や筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	特になし。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	312	“気がかりな子ども”を心理学的に考える	平成31年8月28日(水)

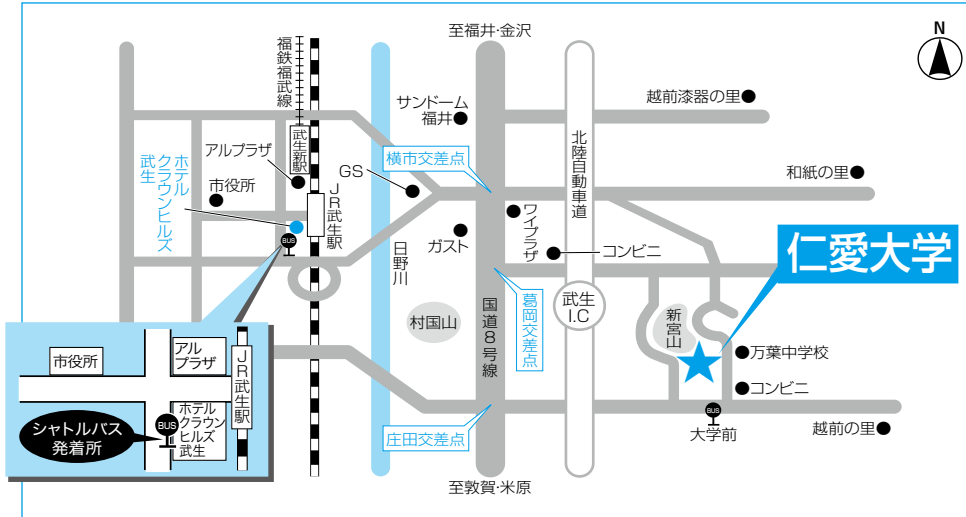
担当講師	森 俊之 (仁愛大学 人間学部 心理学科 教授) 稲木康一郎 (仁愛大学 人間学部 心理学科 教授)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	50人 (最小受講者数10人)
対象職種	教諭、養護教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	学校現場において、“気がかりな子ども”への対応には様々な工夫がなされている。これまでの教育的アプローチに、臨床心理学的アプローチを加え、より複合的な視点から捉えることは、より適切な対応を考える上でも大切である。本講習では、いくつかの臨床心理学的アプローチの基礎を講義と演習を通して理解し、自身の関わっている問題について複眼的な考察ができるようになることをめざす。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:15 (65分) 行動分析の視点から</li> <li>・ 10:15~10:25 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:25~11:40 (75分) スクールカウンセリングの視点から</li> <li>・ 11:40~12:30 (50分) 休憩</li> <li>・ 12:30~13:15 (75分) ストレスマネジメントの視点から</li> <li>・ 13:15~13:25 (10分) 休憩</li> <li>・ 13:25~15:10 (75分) プリーフセラピーの視点から</li> <li>・ 15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:20~16:20 (60分) 筆記試験と講義についての意見交換</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項 当日の持参物	特になし。



区分	講習コード	講習名	開設日
選択	313	表計算ソフトの活用による校務の効率化	平成31年8月28日(水)

担当講師	箆谷 隆弘 (仁愛大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人(最小受講者数10人)
対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭
会場	仁愛大学
講習の内容・目標	幼稚園や小学校の様々な校務を効率化するためには、ICTの利用が欠かせない。特に表計算ソフトを活用する基本的な計算や可視化はもとより、大量のデータを対象とした検索・抽出、分類・集計などは、必要不可欠である。講習を通してこれらの技術を習得し、業務の改善につなげる。 本講習は、1人1台ずつパソコンを利用して演習形式で行う。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 表計算ソフトの基本操作・計算</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~12:10 (90分) データの可視化</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 休憩</li> <li>・ 13:00~14:00 (60分) データの並べ替え・フィルタリング</li> <li>・ 14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:10~15:10 (60分) データの集計・復習</li> <li>・ 15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:20~16:20 (60分) 実技試験</li> </ul>
評価方法	パーソナルコンピュータを用いた実技試験(表の作成と可視化、データ集計等)を行う。
連絡事項 当日の持参物	パーソナルコンピュータの基本的操作(文字の入力・編集、ファイル操作、マウス操作)が行えることを前提とする。 Microsoft社のExcel 2016を用いる。

## 本学へのアクセス



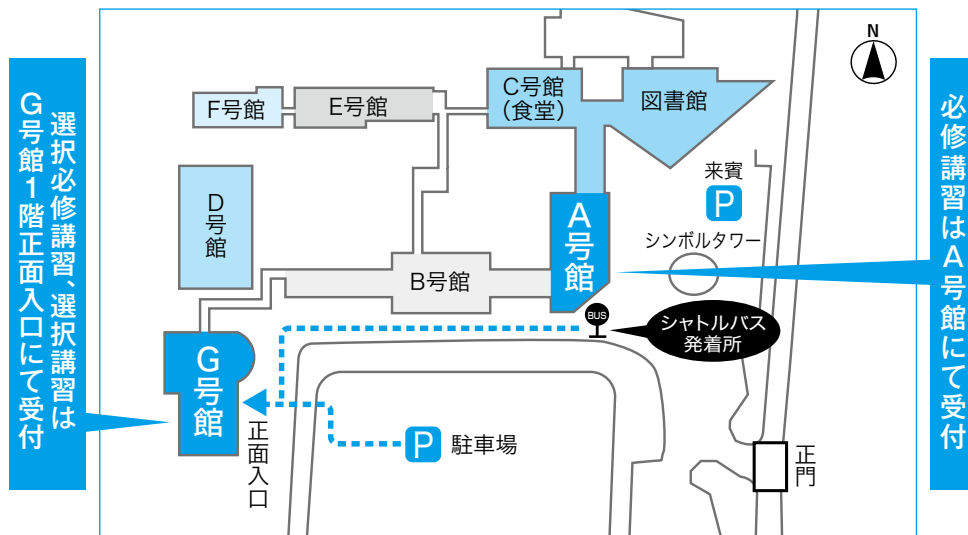
### 無料シャトルバス 運行

■当日は、JR武生駅前(ホテルクラウンヒルズ武生)より本学行き無料シャトルバスを運行します。(大学まで15分)  
●JR武生駅前(ホテルクラウンヒルズ武生) 発 8:40 ●仁愛大学 発 16:35, 18:05

### お車の方

■武生インターから5分 ■国道8号線より車でお越しの場合は、武生インターを過ぎて500m、最初の信号を右折してください。【駐車場は大学構内にあります】

## 学内見取り図



選択必修講習、選択講習は  
G号館1階正面入口にて受付

必修講習はA号館にて受付



お問い合わせ先

# 仁愛大学

教員免許状更新講習係

---

**TEL 0778-27-2257** (直通)

FAX 0778-27-8660 Eメール [menkyo@jindai.ac.jp](mailto:menkyo@jindai.ac.jp)  
URL <http://www.jindai.ac.jp>

---

〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1